

地震防災アニメーション

じしんだ!!



ミーちゃんのぼうさいくんれん



上映時間 12分 [C#0988]

16ミリ版 136,500円 (本体130,000円)

ビデオ版 58,800円 (本体 56,000円)



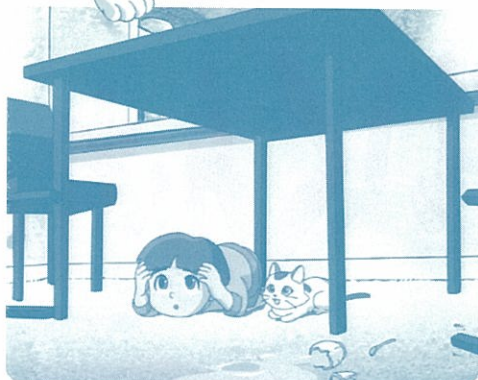
東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>



じしんだ!! ミーちゃんのぼうさいくんれん



ミーちゃん和大樹は大の仲良し。

ある日、部屋の片づけをしないでボール遊びをしていると、大きな地震が！大樹は散らかったおもちゃにつまずいて倒

れてしまいました。

あきれて見ていたボスとクマは、大樹、ミーちゃん、大樹のお父さんとお母さんを“にゃんにゃん地震防災ランド”へ連れて行き、地震について教育することにしました。

地震が起こったらどうすればいい？とボスに聞かれて、うまく答えられないミーちゃん。一番大切なのは命です。命を守るために、どうすればいいのかを学びます。非難するときの注意事項なども教えてもらいました。

大きな地震がきたとき、火を使っていたら？と聞かれたお母さんは「すぐ消します」と答えます。実際には、すぐに消せないときもあるため、消火器を使用したり、消防車を呼んだり、地震の大きさに応じて行動することを勉強しました。

揺れがおさまった後は？と聞かれたミーちゃんは「もうおしまいじゃん」と軽く言います。答えは「×」。大地震の後はとても危険が多いのです。注意すべきことを学びました。

この後、大樹・ミーちゃんは、ある家の部屋の中へ、お父さん・お母さんは街角に移動させられます。そして、大きな揺れが襲ってきて、みんなは大慌て。ボスたちに教えてもらったことを思い出して行動します。

そして、大樹とミーちゃんの助けを求める声を聞いたお父さんは、部屋の中に閉じこめられていた二人を助けることができました。みんなは実際に地震の怖さを体験し、日頃の備えが大事だということを学んだのでした。

監修

首都大学東京 教授 工学博士
中林 一樹

2006 年作品

p.